

臨時議会開催 地域活性化国庫補助事業等を審議

自民クラブ 議員定数「26」から「24」へ削減案提案

1月28日（金）、大垣市議会臨時会が開催され、昨年臨時国会で決まった地域活性化の国庫補助事業など23億6770万円の補正予算が提案されます。また、自民クラブから、大垣市議会の議員定数を「26」から「24」に減らす案が出され、臨時議会で審議されます。

「地域活性化」国庫補助1億70万円

地域活性化事業として、「きめ細かな交付金事業費」3970万円と「住民生活に光をそそぐ交付金事業費」3700万円が大垣市に交付され、市の一般財源1930万円とあわせて以下の事業が予算化されます。

★地域活性化・きめ細かな交付金事業

7600万円

公立保育所の遊具整備や防犯対策、幼稚園防犯対策、排水機場管繕、など8事業。

★地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業 4400万円

多文化共生推進計画策定、学校図書館図書整備、図書館施設利用促進など9事業

市単独景気対策事業 1億5000万円

市単独景気対策事業として、1億5000万円の債務負担行為（平成23年度）が設定されます。以下が事業内容です。

かんがい排水路・農道整備、道路維持補修、河川水路維持管理、水路環境整備、小学校防犯用フェンス設置、中学校トイレ改修等10事業。

子宮頸がん予防ワクチン

ヒブワクチン

小児用肺炎球菌ワクチン

全額助成実現

国の補正予算関連事業で22億4770万円の補正予算がつき、以下がその事業です。【 】は財源内訳

★ワクチン接種緊急促進事業（子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン）

1億4700万円【国6590万円、市8110万円】

★障害者地域巡回訪問サービス等 500万円

★学校等耐震補強事業（東小、川並小、中川小、赤坂小、南中、西部中、東幼、中川幼）

19億8220万円【国3億4260万円、市債14億5070万円、基金1億4000万円、市4890万円】

★準用河川改修事業（江西川）6500万円【国2000万円、市債4000万円、市500万円】

★県営土地改良事業負担金 4850万円【市債2210万円、市2640万円】

市民の叫びを反映してない補正予算

今回の補正予算の事業は必要なものとは思いますが、市民の切実な声を反映したものと言えません。

ハローワークに毎日通い面接を数十回受けても不採用。うつつになり自宅に引きこもる若者。今年に入って1件も工事の引き合いのないので、毎日材料の整理している電気工事店。建築関係の大工さん、水道工事屋さん、左官屋さんもしかりです。これらの声、叫びが反映された補正予算とは到底いえません。

今回の補正予算全体を見た場合、大手建設業者向けの学校の耐震工事等は見受けられますが、地元中小零細企業が引き受けることが出来る工事はあまりありませんが、その中でも防犯フェンス設置とかトイレ改修工事は地元の業者に発注するよう強く要望しておきます。

昨年末、西濃民主商工会が大垣市商工課と懇談して、「住宅リフォーム助成制度」の創設を要望しました。住宅リフォーム助成制度は全国的なブームになっており、補助金の5倍もの仕事を生み出し、その経済効果は実証済みです。岐阜県内でも実施する自治体が増えていますが、大垣市も助成制度を行えば経済効果はもっと大きいのではないのでしょうか。「地域活性化」という点では一時的な対応だけではなく、農業の後継者対策など今最も必要とされている新規就農者育成事業などに予算をつけるなど、長期展望をもった地域の仕事起こしや人材育成を行うことも必要ではないのでしょうか。

市議会議員 笹田トヨ子

「武富士1万人過払い金返還請求110番」 2月1日から2月4日

TEL 0584-92-3307、91-8148

主催・西濃民商、西濃れんげの会（大垣市久徳560）